教育委員会が2つのパブコメを実施中 「いきいき学校づくり計画」＝小規模校統廃合と 「第3期教育振興基本計画」

今、名古屋市は教育委員会関係の2つのパブリックコメントを実施しています。

一つは「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」（以下、「学校づくり計画」）の案。これは、今年の4月から2033年度までの15年間に及ぶ計画で、クラス替えが出来ない学年が生まれる小規模校（小学校で11学級以下・中学校で5学級以下）の統廃合をすすめることが大きな目的になっています。

もう一つは「第3期名古屋市教育振興基本計画」（以下、「基本計画」）の案。これは、名古屋市の教育施策を総合的、計画的にすすめるためのもので、今年の4月から2023年度までの5カ年計画です。第1期（2011年度～2014年度）、第2期（2015年度～2018年度）に次ぐ3期目の計画と位置づけられています。

パブリックコメントの期間は「学校づくり計画」が1月23日から**2月25日まで**、「基本計画」が1月18日から**2月18日まで**となっています。

いずれも、名古屋市の教育行政をすすめる上での基本的な長期計画です。名古屋市に意見を寄せるチャンスですので、積極的に活用しましょう。

住民合意のない小規模校統合には反対 大規模校こそ対応を――学校づくり計画

市内では小規模学校が増え、小学校では261校のうち73校、中学校では110校のうち4校になります。市は、これら小規模校の統廃合を進めようとしてきましたが、住民合意が得られず計画どおりには進んでいません。今回の「学校づくり計画」案では、まず教育委員会が

主導して具体的な「個別プラン」を作成した上で統廃合を進めようとしています。この背景には、「小規模校ではコストが割高なので統廃合で経費抑制を」という国の意向が色濃く反映されています。

日本共産党市議団は、住民合意のない学校統廃合には一環して反対し、子どもたちに教育がゆき届く小規模校のメリットや存続の選択肢も記述すべきだと指摘。また、31学級以上になっている過大規模校（市内6小学校）対策や老朽化した校舎の改築こそ早急にすすめるべきだと主張してきました。

関心のあるところをチェック 要望を記載すればOK――基本計画

「基本計画」案は第2期計画の後継計画で、「夢に向かって人生をきり拓くなごやっこの育成」という基本理念を引き継いでいます。しかし、具体的な「施策」や個別「事業」は必ずしも踏襲しているわけではありません。従って、前期の「事業」計画の到達点不鮮明なまま新たな事業を「現況」「目標」として掲げる構成になっています。

全体で125ページに及ぶ冊子になっていますが、各事業は細分化されているので、問題意識、関心のある部分について意見を寄せる方法をお勧めします。

例えば、「一刻も早く千種図書館を改築して欲しい」という意見でも大丈夫です。今回の計画案自体に、関連する個別計画として「なごやアクティブ・ライブラリー構想」が明示され、内容もそれにそったものになっているからです。（本文編107～108ページ参照）

パブリックコメントの要領

① **閲覧・配布場所** 市のホームページ、市民情報センター（市役所西庁舎1階）各区役所情報コーナー・支所、各市立図書館、各区生涯学習センターなど

② **意見の提出方法** ①それぞれの計画案に対する意見であること ②住所 ③氏名を明記の上、郵便、ファクシミリ、電子メール、市教育委員会に持参

④ **宛先** 名古屋市教育委員会事務局総務部
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

①「学校づくり計画」ファックス 052-972-4175
電子メールアドレス a3226@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

②「基本計画」ファックス 052-972-4176
電子メールアドレス a3272@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

「学校づくり計画」 の様式

「基本計画」 の様式